

- 問1 13世紀後半、元軍による最初の侵攻である文永の役ののち、鎌倉幕府が再度の襲来に備えて、九州北部の博多湾沿岸に約20kmにわたって築かせた石造りの防壁を何といいますか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 山城 2. 水城 3. 防塁 4. 環濠
- 問2 1221年に後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げた「承久の乱」に際し、北条政子が御家人たちに対して行ったこととして、最も適切な説明はどれか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 源頼朝が武士に与えた「御恩」を強調して演説し、幕府側の団結を促した。 2. 朝廷との対立を避けるため、執権の地位を後鳥羽上皇に返還することを提案した。 3. 自ら武装して戦場に立ち、京都の軍勢を圧倒する戦果を挙げた。 4. 武力での抵抗を諦め、御家人たちに新しい領地を与えて地方へ逃亡させた。
- 問3 13世紀にモンゴル帝国の第5代皇帝となり、都を現在の大都（北京）に移して、国号を「元」と定めた人物は誰ですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. フビライ＝ハン 2. 袁世凱 3. 蒋介石 4. チンギス＝ハン
- 問4 紀伊国の阿氏河荘（あてがわのしょう）という荘園では、地頭が農民を不当に働かせたり、年貢を横領したりといった横暴を働いていました。これに苦しんだ農民たちは、自分たちの窮状を訴える文書を「土地の本来の持ち主」へ送りました。この訴えの宛先となった、当時の土地支配の中心的な勢力として正しいものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 管領や大老 2. 将軍や執権 3. 守護や地頭 4. 貴族や寺社
- 問5 鎌倉時代に宋（中国）へ渡って禅を学び、帰国後に「只管打坐（しかんたざ）」と呼ばれる、ひたすら座禅に打ち込む修行を重視する宗派を開いた僧侶は誰ですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 道元 2. 最澄 3. 空海 4. 栄西
- 問6 1221年の承久の乱に際し、北条政子は御家人たちを前に、亡き源頼朝が幕府を開いて以来の「恩」を説いて団結を促しました。このとき、政子が御家人たちに再確認させた、将軍から受けた恩恵の内容として正しいものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 全国の関所を自由に通るための通行証を与えられたこと 2. 苗字を名乗ることや、刀を差すことを許されたこと 3. 重い税を免除され、経済的な支援を受けたこと 4. 官位を授けられ、土地の所有を保証されたこと
- 問7 鎌倉幕府において、将軍と御家人は土地を仲立ちとした主従関係で結ばれていました。将軍が御家人の先祖伝来の領地の所有権を認めたり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりした行為を何といいますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 安堵 2. 寄進 3. 奉公 4. 御恩
- 問8 鎌倉時代の御家人の間で行われていた、父親の領地を複数の子に分けて引き継がせる仕組みについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この仕組みでは、世代を重ねるごとに個々の御家人が持つ領地が小さくなるという特徴がありました。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 長男のみがすべてを継ぐことで、一族の領地と勢力が維持された。 2. 個々の領地が縮小し、御家人が経済的に困窮する原因となった。 3. 幕府が領地を一度回収し、功績のある別の武士へ再分配した。 4. 領地が細分化されることで、農業の生産効率が劇的に向上した。
- 問9 鎌倉時代を代表する仏師である運慶の作風や活動背景について、正しく述べているものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 山の中で厳しい修行を行い、座禅によって自ら悟りを開くことを説く新しい宗派を広めた。 2. 幕府の保護を受けて中国（明）へ渡り、水墨画の技法を取り入れた新しい芸術の形式を確立した。 3. 武士の好みを反映した力強く写実的な彫刻を追求し、東大寺南大門の金剛力士像などを手がけた。 4. 念仏を唱えながら踊ることで、地方の武士や民衆の間に新しい仏教の信仰を広める活動を行った。
- 問10 1297年に出された「永仁の徳政令」が発令された歴史的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が旗本や御家人の困窮を救うために、札差（金融業者）に対して借金の破棄を命じたため。 2. 大規模な飢饉が発生し、幕府が米の価格を安定させるために商人の独占を禁じ、流通を制限したため。 3. 室町幕府の権威が低下し、各地で農民が団結して年貢の免除や借金の帳消しを求める土一揆が頻発したため。 4. 元寇で多大な軍費を負担した御家人に対し、防衛戦であったために十分な恩賞が与えられず、生活が困窮したため。
- 問11 1221年に起こった承久の乱のあと、鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しい名称を選びなさい。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 六波羅探題 2. 京都所司代 3. 地頭 4. 守護
- 問12 12世紀から13世紀にかけての政治的な出来事とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 後鳥羽上皇が承久の乱を起こして幕府を倒したことで、貴族の政治が復活した。 2. 承久の乱の後に設置された六波羅探題によって、朝廷の権限が大幅に強化された。 3. 平清盛が太政大臣となり、武士として初めて政治の実権を握ったが、後に源氏に敗れた。 4. 平清盛は藤原道長と協力して、摂関政治の仕組みを武士の時代にも継続させた。
- 問13 奈良の寺社に関連する歴史的背景について述べた次の文のうち、内容が正しいものを1つ選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 室町時代の足利義満は、東大寺南大門の再建を通じて、武家と公家の文化を融合させた。 2. 平安時代後期に院政を行った白河上皇は、奈良の春日大社への参詣を繰り返した。 3. 奈良時代、聖徳太子は鑑真を招いて東大寺を建立させ、鎮護国家の象徴とした。 4. 鎌倉時代、武士の力を示すために運慶が唐招提寺に金剛力士像を設置した。
- 問14 鎌倉時代の1232年、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 中国の律令をそのまま導入することで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。 2. 江戸幕府の基礎を固めるために、大名が勝手に城を修理したり婚姻を結んだりすることを禁じるため。 3. 朝廷の権限を強め、天皇や公家が武士を統制するための新しい法律を確立するため。 4. 承久の乱の後に増加した、地頭と領主の間などの領地をめぐる争いを、公平に裁判するため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 防塁	文永の役（1274年）で元軍の集団戦法や火器に苦しめられた鎌倉幕府は、再度の襲来を想定して、御家人たちに博多湾沿岸の防衛を強化させました。このときに築かれた石造りの壁は「防塁」または「石築地（いしつじ）」と呼ばれ、1281年の弘安の役において元軍の上陸を阻止する大きな役割を果たしました。選択肢にある「水城」は、7世紀に白村江の戦いでの敗戦後、唐・新羅の侵攻に備えて大宰府近郊に築かれた土塁のことであり、時代設定が異なります。
問2	答え 1 源頼朝が武士に与えた「御恩」を強調して演説し、幕府側の団結を促した。	承久の乱が起きた際、朝廷（上皇）に弓を引くことに迷う御家人に対し、北条政子は「亡き頼朝公の恩は山よりも高く、海よりも深い」と演説を行いました。この言葉により、御家人たちは幕府側として戦う決意を固め、結果として幕府の勝利と執権政治の安定につながりました。
問3	答え 1 フビライ=ハン	チンギス=ハンが築き上げた広大な帝国を引き継いだ孫のフビライ=ハンは、中国の伝統的な王朝の形式を取り入れ、国号を「元」としました。都を草原地帯のカラコルムから、農耕社会との接点である大都へと移したことで、中国支配をより強固なものにしました。なお、チンギス=ハンは帝国の創始者であり、袁世凱や蒋介石は近代中国の指導者です。
問4	答え 4 貴族や寺社	鎌倉時代の地方の土地（荘園）は、法的には京都の貴族や大きな寺社が「荘園領主」として所有していました。幕府から派遣された武士である地頭が農民に対して不当な要求を行った際、農民たちは「本来の主人」である荘園領主に助けを求めるため、訴状を送って抗議しました。阿氏河荘の百姓訴状はその代表的な事例です。
問5	答え 1 道元	鎌倉時代には、武士の精神的支柱となる新しい仏教が次々と誕生しました。道元は宋での修行を経て日本に帰国し、越前（福井県）の永平寺を拠点に曹洞宗を広めました。同じ禅宗でも、公認の地位を求めた臨済宗とは異なり、道元は権力から距離を置き、純粹に坐禅を行うことを説いたのが特徴です。
問6	答え 4 官位を授けられ、土地の所有を保証されたこと	承久の乱の際、北条政子は「亡き頼朝公が朝廷の敵を倒して幕府を開いて以来、官位や土地などの恩恵を受けたその恩は、山よりも高く、海よりも深い」と御家人たちに訴えかけました。この言葉は、将軍が御家人の領地支配を認め、社会的地位（官位）を保証してきた「御恩」の重要性を説いたもので、動揺していた御家人たちが幕府側として戦う決意を固める大きな要因となりました。
問7	答え 4 御恩	鎌倉幕府の基盤は、将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」という主従関係にありました。将軍側が行う、御家人の領地を保護・付与する行為が「御恩」と呼ばれます。具体的には、元々持っていた土地を保証する「本領安堵」や、戦功に対して新しい土地を与える「新恩給与」がありました。これに対し、御家人が軍役や番役を果たすことが「奉公」です。
問8	答え 2 個々の領地が縮小し、御家人が経済的に困窮する原因となった。	鎌倉時代初期の武士社会では、子に領地を分けて相続させる「分割相続」が一般的でした。しかし、この方法では世代が交代するたびに1人あたりの領地が小さくなり、武士の経済基盤を弱める結果となりました。元寇の際に恩賞としての新しい領地が得られなかったことや、貨幣経済の浸透による出費の増大も重なり、多くの御家人が生活に困り、借金を抱えるなどの事態を招きました。これが幕府に対する不満へとつながり、鎌倉幕府が衰退する一因となりました。
問9	答え 3 武士の好みを反映した力強く写実的な彫刻を追求し、東大寺南大門の金剛力士像などを手がけた。	鎌倉時代は武士が政治の実権を握った時代であり、文化の面でも、より現実的で力強い表現が求められるようになりました。運慶は、その時代の要求に応えるように、解剖学的に正確な筋肉の動きや、生き生きとした表情を持つ彫刻を多く残しました。特に東大寺南大門の金剛力士像は、慶派の写実主義が頂点に達した作品と評されています。他の選択肢は、順に室町時代の雪舟、鎌倉新仏教の一遍（時宗）、道元（曹洞宗）の活動について述べたものです。
問10	答え 4 元寇で多大な軍費を負担した御家人に対し、防衛戦であったために十分な恩賞が与えられず、生活が困窮したため。	元寇（蒙古襲来）において御家人は自費で戦いましたが、侵略を防ぐための戦いであったため、幕府が没収して恩賞として分け与える土地が不足していました。恩賞を得られないまま借金に苦しむ御家人が続出したため、幕府は彼らの没落を防ぎ、軍役を維持させる目的でこの法令を出しました。
問11	答え 1 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで支配力が弱かった西日本への統制を強める必要がありました。そこで、かつて平氏の拠点であった京都の六波羅に、朝廷の監視や西国の御家人の統制、さらには裁判業務などを担う機関を設置しました。江戸時代に京都の監視を行った京都所司代との混同に注意が必要です。
問12	答え 3 平清盛が太政大臣となり、武士として初めて政治の実権を握ったが、後に源氏に敗れた。	12世紀に平清盛が武家政権の先駆けを築きましたが、その後、源氏との戦いに敗れ、源頼朝による鎌倉幕府へと時代が移り変わります。承久の乱では幕府側が勝利したため、朝廷の権力は弱まり、六波羅探題が置かれて監視される立場となりました。藤原道長は平氏の台頭よりも前の時代、摂関政治の象徴的な人物です。
問13	答え 2 平安時代後期に院政を行った白河上皇は、奈良の春日大社への参詣を繰り返した。	平安時代末期、白河上皇が始めた院政期には、天皇や上皇が特定の寺社を深く信仰して参詣する「御幸」が頻繁に行われ、春日大社もその重要な拠点の一つでした。鑑真が来日したのは奈良時代ですが、東大寺を建立したのは聖武天皇です。また、運慶らが金剛力士像を制作したのは鎌倉時代の東大寺再建の際であり、唐招提寺ではありません。
問14	答え 4 承久の乱の後に増加した、地頭と領主の間などの領地をめぐる争いを、公平に裁判するため。	1221年の承久の乱を経て、幕府の支配力は西日本まで拡大しましたが、それに伴い地頭（武士）と荘園領主（公家など）の間で領地をめぐる紛争が急増しました。北条泰時は、それまでの武士社会で行われていた慣習（武家慣習法）を整理し、武士たちに納得感のある公平な裁判の基準を示すためにこの法典を制定しました。なお、大名を統制する法律は江戸時代の「武家諸法度」であり、混同しないよう注意が必要です。